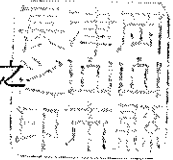




津 都 都 第 6 4 号  
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 殿

津山市長 桑山博之



### 中期的な計画の作成にあたっての意見について

平成19年4月2日付国道企第114号で依頼のあった標記の件につきまして、下記の通り意見を提出します。

#### 記

地域高規格道路「空港津山道路」は、合併により市域が広がる県都岡山市との連携強化など津山圏域の発展に不可欠な道路であり、全線約60km/hの早期整備が必要である。なお、コスト縮減と早期効果発現のため、路線全体のサービス速度は確保しながら現道整備も織り交ぜて計画し、地域高規格道路のモデル事業と位置付け集中投資を行い、整備目標年次も公表して取り組むことが肝要である。

津山市将来道路網整備計画で外環状や中環状に位置づけられ、合併前の旧町村との連携強化や津山駅周辺整備の骨格を担う国道53号(津山駅付近から鳥取方面)の、拡幅や交差点改良等による効果的な整備が必要である。

津山圏域の安全・安心な生活のためには、県北唯一の第三次救急医療施設である津山中央病院への、中国自動車道津山インターチェンジや広域農道からのアクセス強化が必要であり、特に国道53号と広域農道を南北に結び津山中央病院へもアクセスする(都)河辺高野山西線の整備が急がれる。

地方都市における景観や歴史資源を活用した中心市街地の活性化や防災対策、通学路の安全対策など生活環境の向上を図るため、無電柱化や交通安全対策、バリアフリー化の推進が必要である。

津山市は合併により市域が約2.7倍に広がったが、地方部の都市は自動車交通に依存している現実があり、地域相互の交流促進や国土の適正な維持管理の観点からも、農道や林道を含む既存ストックを十分活用した上で、地域の生活を支える道路の整備を着実に進めることが必要である。

高齢化が進む道路構造物を戦略的に管理し、早期補修による延命化やコスト縮減を図ることは、結果的には新規道路事業費のコスト縮減につながることであり、道路特定財源による維持管理面へ支援拡大が必要である。

道路整備に対するニーズは高く、受益者負担という制度の趣旨に則り、道路特定財源はすべて道路整備に充当し、真に必要な道路の整備を推進する必要がある。